

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

























様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日(手術2日前)	手術前日	当日(術前) 当日(術後)
目標	○手術について理解し、準備を整えられる ○手術後の身体的変化を受け入れられる		○心身ともに安定した状態で手術に臨める ○術後合併症を起こさない ○合併症出現時、早期に発見、対処される
検査	採血 採尿		
食事	入院後、低残渣食	朝から絶食(水、茶可) ・経口補水液は、麻酔科の指示で服用	絶飲食
	朝食はご自宅で	/	/
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで)	弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします 必要時、シャワー浴前に臍処置、除毛します 医師、看護師がストーマの位置を決め、マーキングを行います	朝 浣腸します 時間になれば、看護師が手術室にご案内します 手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → ・心電図モニター → ・点滴の管(CVカテーテル) → ・背中のチューブ(鎮痛剤) → ・創部の管(ドレーン) → ・右、左尿管カテーテル → ・フットポンプ(血栓予防) →
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 昼食後、夕食後、眠前下剤を服用します	昼 2000ml の下剤を服用します 朝、昼、夕、眠前下剤を服用します	以下を点滴します ・持続点滴 → ・抗菌薬 →
		シャワー浴 洗髪をします 	以下の手術準備をします ・シャワー浴 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、時計等の取り外し
行動・リハビリ	制限はありません		手術後ベッドで集中治療室にお連れします ・翌朝まで ベッド上安静です
説明・指導	主治医・麻酔科医より(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について		主治医より ・手術結果について
	病棟・手術室、集中治療室看護師より ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・集中治療室について ・尿路ストーマについて(パンフレット・DVD・YouTubeなどを使用)		看護師より ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法について
	薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について		
	療養士より ・リハビリについて		

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～	月 日
経過	術後 1 日目		術後 2～6 日目	
経過			術後 7 日目以後	
経過			術後 21 日目 (退院日)	
目標	<p>○術後合併症を起こさない（出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞）</p> <p>○疼痛がコントロールされる</p> <p>○尿管カテーテルより尿が排泄される → 抜去後、狭窄がなく尿が排泄される</p> <p>○尿路ストーマのトラブルがない</p> <p>術後 4 日目頃～○ストーマ装具に慣れ、尿を排泄することができる</p> <p>術後 7 日目頃～○ストーマに慣れ、装具の交換ができる</p> <p>○退院後の療養上の注意点について理解できる</p>			
検査	<p> 採血 (必要時)</p> <p> レンゲン撮影</p> <p> 超音波検査</p>			
食事	<p> 絶飲食</p>		<p>術後 3 日目～</p> <p>水分開始 → 流動食 → 粥食 → 軟飯食へ</p> <p>   </p>	
退院日は朝食のみ			<p>  </p>	
処置・観察	<p>以下の挿入物、装着物があります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸素マスク → 取り外します</li> <li>心電図モニター → 取り外します</li> <li>点滴の管 (CV カテーテル) → 不要となれば抜去します</li> <li>背中チューブ (鎮痛剤) → 2 日目に抜去します</li> <li>創部の管 (ドレーン) → 3 日目、6 日目に抜去します</li> <li>右、左尿管カテーテル → 8 日目に右、10 日目に左尿管カテーテルを抜去します</li> <li>フットポンプ → 取り外します</li> </ul> <p> 創部の観察、処置を行います</p> <p> 尿路ストーマの装具交換を開始します</p> <p> 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります</p>			
点滴・内服	<p> 以下の点滴を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持続点滴 → 術後 7 日目頃終了予定</li> <li>抗菌薬 → 一旦終了</li> </ul>		<p> 術後 8 日、10 日目</p> <p>・抗菌薬 (尿管カテーテル抜去日)</p>	
行動・リハビリ	<p> 状況に合わせて、全身清拭、洗髪、足浴を行います</p>		<p> 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります)</p>	
リハビリ	<p> 付き添いのもと、リハビリを継続します</p> <p>・1 日 3 回以上ガムを噛みます (詳細は入院後説明します)</p>		<p> 制限はありません</p>	
退院			<p> (退院日) 朝食後退院です</p>	
説明・指導	<p> ～看護師より～</p> <p>ストーマケアについて「口尿路ストーマをつくられた方へ」を使用し、心身の回復状況に合わせて説明、実演していきます(必要に応じてご家族も)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ストーマとは</li> <li>② ストーマの種類</li> <li>③ 尿の処理方法</li> <li>④ 装具交換の方法</li> <li>⑤ ストーマケアのポイント</li> <li>⑥ 装具の保管購入について</li> <li>⑦ 身体障害者手帳の申請について</li> <li>⑧ 医療費控除について</li> <li>⑨ 日常生活について</li> <li>⑩ 皮膚障害について</li> <li>⑪ ストーマ外来について</li> <li>⑫ 患者会について</li> </ul>			
説明・指導	<p> 主治医より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後の治療計画、療養上の留意点について</li> </ul> <p> 看護師より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後の療養生活について(療養計画書をお渡しします)</li> </ul>			

